

# 2021年度 決算について

大和証券グループ健康保険組合の2021年度決算と事業報告が7月14日に開催された組合会において可決、承認されました。

## 健康保険

2021年度は、前年度から順調であった当社グループ収益を反映した賞与水準上昇に伴う保険料収入増加が寄与し、経常収入は、前年度から3.6億円増加し87.0億円となるものの、経常支出は、前年度コロナ禍の影響で減少したと考えられている保険給付費の反動で、昨年度から2.6億円増加し94.8億円となり経常収支は7.9億円の赤字となりました。このため、全体収支を均衡させるため積立金を9億円取り崩すことを余儀なくされました。

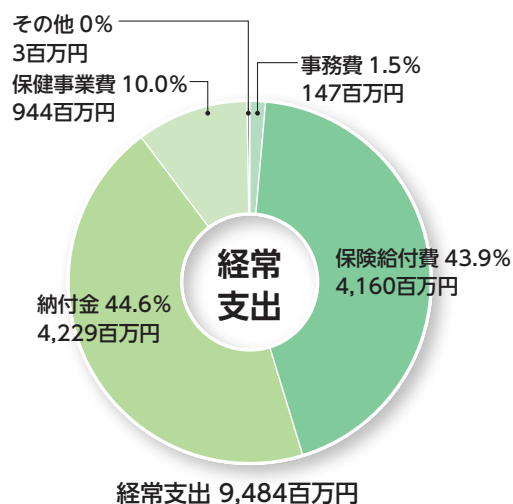
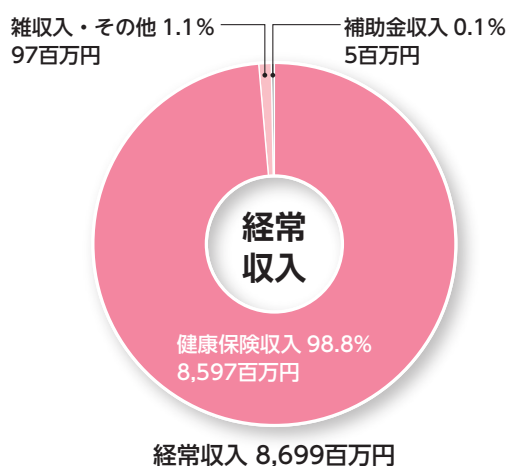
我が国の社会保険制度を維持していくために、現役世代は高齢者医療を財政的に支援していくことが期待されています。そのため、健康保険組合より納付金として支出される金額は40億円を超える水準に達しています。

これは、健康保険組合加入者の医療保険として支出される保険給付費と同水準にあります。我が国において高齢化が進展する中で納付金額は増加していく見

通しです。このような背景から本年2月に開催された組合会においてご承認を得、2022年度より保険料率の引上げを実施させていただきました。その結果、本年度は経常収支黒字を見込み積立金の取崩しも予定しておりませんが、当健保では財務の健全性に十分留意しながら、引き続き業務の運営に努めて参ります。

また、社員の皆様の健康の保持・増進のために事業主、総合健康開発センターと連携を図りながら実施している保健事業には、2021年度は9.4億円支出しております。法定健診は受診が必須ですが、その結果に基づき実施している「生活習慣見直しプログラム」は、ご自身の健康を将来に渡って維持していくための制度ですので、「自分ごと」と捉え、是非、前向きな取組をお願いいたします。その他イベント等の企画についても必要に応じて検討・改善を加え、皆様の健康づくりのお役にたてるよう努力して参りますので、積極的なご参加をお待ちしています。

### 【健保組合決算の内訳】



## 介護保険

介護保険は納付金が11.7億円に対して保険料収入が12.2億円となりました。2022年度は保険料を据え置いておりますが、今後も高齢者の増加に伴い、引上げが想定されます。

(単位:百万円)

| 収 入    |       | 支 出      |       |
|--------|-------|----------|-------|
| 介護保険収入 | 1,217 | 介護納付金    | 1,166 |
| 繰越金    | 55    | 介護保険料還付金 | 0     |
| 合計     | 1,272 | 合計       | 1,167 |

(健康保険組合 佐野)